丸山湿原群保全の会会報

(第 142 号)

発行日:2019年(R1)5月15日 編集/発行:丸山湿原群保全の会 〒669-1211 宝塚市大原野字炭屋1-1 西谷地区まちづくり協議会事務局内 TEL/FaxO797-91-1788

090 - 1895 - 8061 (今住)

E-mail: maruyamashitugengun@gmail.com

あっという間に夏を迎えております。月1回の会報発行のあいさつでは仕方がないことかもしれません。春先の低温。そして雨が降っている日が多いような気がしていましたが、実際にはカラカラ陽気。田んぼの水もそろそろ心配になってきました。田植えも苗の成長が遅く、どこも遅れ気味。と思っていたら30℃近い日々。人も含め動植物には相当のストレスだと思います。

さて、今年はどんな梅雨になるのでしょうか?与那国島では記録的短時間雨量を記録。危険が 迫っているとか。梅雨の走り。同じようなことがまたあちこちで起こるのでしょうか?何が起こ ってもおかしくない地球。さあどうしましょう?

(今住 5月13日作成)

定期活動 ★4月28日(日)定期活動 入口平場雑木整理 その後観察 6名で活動

竹筒ポストの新調を考えていましたが、やはり竹の入手(伐るのが)が面倒でできず。孟宗竹の

大きいのになると相当の重量と高さ。気合がいります。とただの言い訳。よし5月には!…実際には本日13日時点、できていません。よし!月末の活動には!と志を立てるのでした。(たいそうな…)県民局の方たちも視察に来られた際、「底(節)が抜けてるやん」と言っておられたとか。

本題。植物保護のため、基本湿原には入らない時期に。入口から

竹筒ポストの間の平場雑木処理を行っています。少しずつですが進んでいます。今回は久しぶりのチェンソー登場。イヌツゲ



(犬柘植) を伐っていきます。手作業組は ハイカーさんポストに石を!何?

細い雑木と倒したイヌツゲの処理。できるだけ細かく伐り、隙間なく積み上げる。いわゆる兵庫方式の里山管理法。特にイヌツゲは細かい枝が四方 八方に広がり、とても邪魔くさい木です。しかもすぐ再萌芽し、成長が早

い。櫛にでもなればいいのですが、 やはり「イヌ」の名前がついてい る通り役に立たないようです (劣るという意味に使われます)。 犬好

きには失礼な話ですが…差別的な意味もあるのかもしれません。しかし、生け垣など造園では多く使われています。 葉がギザギザ(鋸歯あり)で互生。

今回はチェンソー使用

それに対し本柘植(ホンツゲ=ツゲ)は成長が遅く固い。 葉は対生で鋸歯なし。分類上は全くの別種。印鑑や櫛など



雑木の集積 重いものを上に載せる

にして使い込むと艶が出て美しい。私も以前どこかのお土産で頂いた記憶があります。夫婦円満の

象徴でもあるようです。柘植(ツゲ)さんという名字の方は岐阜 や愛知に多いようで(私の知り合いも岐阜)、日本中部に多い木 本なのでしょうか?ただの想像です。根拠はありませんのでご承 知を。分布知識お持ちの方はご連絡ください。

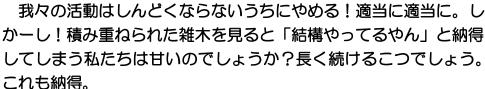
さて、また話が飛んでいました。本題。短い時間に黙々と仕事 をこなす会員と、「あっ!なんかあった!」と手を休めてばかり

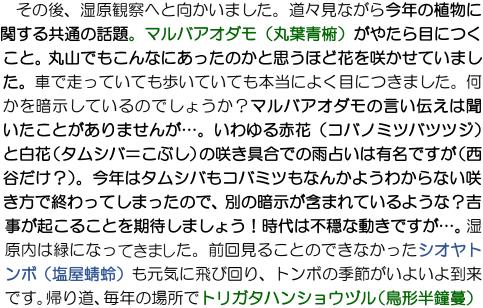
> の会員。それぞれ自分のペースで 活動しています。休みの多い人は



ルリタテハ死んでも瑠璃色は美しい

ックバキンモンソウ(筑波金紋草)をたくさん見つげたり。そして これは?ひょっとしてエビネ?という葉まで。そんなわけないか? といいながら経過観察することに。今年は昆虫の出現が遅いと言い **ながら、ルリタテハ(瑠璃立羽)の死骸も発見。**生きているのも飛 んでいましたがカメラに収まらず。





こと。丸山でもこんなにあったのかと思うほど花を咲かせていまし た。車で走っていても歩いていても本当によく目につきました。何 かを暗示しているのでしょうか?マルバアオダモの言い伝えは聞 いたことがありませんが…。いわゆる赤花(コバノミツバツツジ) と白花(タムシバ=こぶし)の咲き具合での雨占いは有名ですが(西 谷だけ?)。今年はタムシバもコバミツもなんかようわからない咲 き方で終わってしまったので、別の暗示が含まれているような?吉 事が起こることを期待しましょう!時代は不穏な動きですが…。湿 原内は緑になってきました。前回見ることのできなかったシオヤト ンボ(塩屋蜻蛉)も元気に飛び回り、トンボの季節がいよいよ到来 です。帰り道、毎年の場所でトリガタハンショウヅル(鳥形半鐘蔓) も確認。今年は花付きが少ないながらも大きな花を咲かせていまし

た。これも遅霜のせいでしょう か?

竹筒ポストの付近に戻ると 多くのハイカーが…。**ハイカ** ーがポストに石を入れてくれ れば今の百倍ぐらいの来訪者 数になるのですが、節が抜け てるしボロボロやし。決意を 新たにした瞬間でした。今年



トリガタハンショウヅル





マルバアオダモ



シオヤトンボ未熟♀?ムギワラ



シオヤトンボ♂シオカラになる

もポストにシジュウカラの産卵はあるんやろか?この話は後半で。

定期活動

★5月11日(土) 定期基礎調査・巡回、観察、外来種除去 ごみ処理 5名の参加

目的	市内	市外
丸山	26	16
ハイキング	節抜け	თ
その他	0	5

来場者数 計50人 (竹筒ポスト人数)

場所	時間	気温【水温】	電気伝導度(EC)	PH
入口	10:05	23.3℃		
第3湿原	10:45	[24.4°C]	29.9 μ S/cm	6.4
視点場	11:05	28.1℃	32.6 µ S/cm	6.4
第1湿原	11:15	[27.2°C]	32.5 µ S/cm	6.6
第2湿原	11:40	【21.1℃】	39.4μS/cm	7.0

ちょっと最近会員の参加率が悪いような…一抹の不安を感じながら出発です。皆さんこの季節 あちこちで忙しいようで結構なことです。それぞれの場で得た情報をまた共有したいと思います。 本日は観察・調査日。雨が少なくしかも暑い!30℃を超えるかという感じです。



ポストから卵 シジュウカラ?

毎年、この回は竹筒ポストに小鳥(シジュウカラ?)の卵が。今年 もあるかも?と言いながらそろりと開けてみると。う~ん。ありま した。2個。卵の殻の模様からやはりシジュウカラか?いつもなん でやねん!といいながら今年も割れてしまいました。昨年も会報に 書くと無精卵の可能性が高いという情報が寄せられました。で納得。 「悪くないもん!」温めている様子もないしね。

湿原までの道々はコバノガマズミ (小葉莢) やツクバネウツギ (衝

羽根空木) などがかわいい花を咲か せていました。ヤマボウシやタニウ ツギ、タンナサワフタギもまもなく 開花。前回エビネ?と半信半疑で見 ていた植物はどうなったでしょう か?



案の定エビネではなく、こんな情 けない花を咲かせていました。ラン



ではなくササノハスゲ(笹の葉菅)だったようです。会員の植物研 究家に聞くとすぐ回答が(前回見つけたときは不参加)。「エビネの ような葉の植物」とスマホに聞いても探せなかったのに…やはり実 物をしっかり調べている方はすごい!「よくエビネ?と聞かれる」 とも。いや~心強い限りです。生き字引とはこのことか?「字引」 ササノハスゲ スゲには見えない? という言葉は既に死語か?「生きスマホ」?若干ITには疎い方です



が…失礼!さらにキョロキョロしながら進んでいくと死んだオオス ズメバチが。この時期の大きな個体は女王バチ。せっかく寒い?冬を 乗り越えたのに子孫を残すことなく逝ってしまわれました。女王バチ の記事は以前書いたような気がします。(バックナンバー125 号参 照) また、湿った道では糞虫のセンチコガネ(雪隠金亀子) が水を吸 っていました。漢字表記を調べてびっくり!「雪隠=便所」しかし力 ブトムシの仲間。森の分解屋の一種です。イノシシなどの糞や枯れ木 の中で生活することが多いので糞虫というそうです。人の立場から言



産卵せず逝ってしまった女王様

うとちょっとかわいそうな名です。わかりやすいですが。皆 さん猪のうんこを見つけたときは割ってみましょう。ちょっ



と乾いたやつでないとえら いことになりますので注 意!

こんな話がたまらなく面 白いのは私だけでしょう か?「うんこドリル」が流行



糞虫 センチコガネ吸水中

って、いよいよ時代がやってきたと喜んでいる次第です。公立の学 校では「うんこドリル」は未だご法度なのでしょうか?小学校に入 るまでは大うけの話題なんですがね。偏見除去にも役立つし…。 昔、学校でうんこに行っていじめられた経験をお持ちの方は多い のでは?いや、いじめた側か?ナイショナイショ…。

湿原にたどり着かん!一足飛び~。 地味なところではヤチカワズスゲ(谷 ヤチカワズスゲ

地蛙菅)が咲き出していました。名前の通り谷地のカエルがいそうなと ころに生育するスゲで、丸山湿原群でもミカヅキグサと並ぶ代表種です。 星のような花が目印。ところが調べてみると、京都では絶滅寸前種。い かに湿地の破壊が進んでいるかがうかがえます。西谷ではまだまだ見ら れます。適地は限られますが。モウセンゴケ(毛氈苔)も花茎を伸ばし てきました。イシモチソウもまもなく開花。

地味でビッグな植物も開花していました。環境省 RDB IB類、兵庫 RDB A ランクのヒメミコシガヤ (姫神輿茅) です。 希少性はピカイチ!



第3湿原道脇のモウセンゴケ

超レア? ヒメミコシガヤ

兵庫と岡山の一部でしか確認され -ていないとか。見てくれはいまいち。図鑑に「残念なシリー ズ」がありますが、あれほどユニークでもなくただの草。花 が咲いてもついつい「どーでもええやん」と言ってしまいそ うなビッグな情報です。場所は内緒。知りたい方は「丸山湿 原群保全の会」に入会しましょう!勧誘もよろしくお願いし

ます。ヒメミコシガヤ ではのってこないで しょうが。

名前の由来は穂を 神輿にたとえたとか (神輿茅+姫=かわ

いい・小さい)。誰も納得しない命名です。これも残念!ス ゲ好きの方申し訳ありません。しかしとにかく希少。 ここ の個体群が消えると絶滅に近づく可能性ありです。たいそ うなようですが事実。生育場所は極秘でお願いします。



緑色になった第1湿原

連 絡 2019年度総会 6月8日(土)13:30~(自然休養村センター)

総会資料は別便で近日中に郵送。出席できない方は委任状をお願いします。

次回活動日 5月26日(日) 6月8日(土 午後は総会) 23日(日) 7月13日(土) 西谷小学校の環境学習 6月 13日(3限)オープンスクールで実施 参観自由 見に来てください。